

埋文やまがた



2021年3月31日
web版第8号
(第64号)



水林下遺跡



杉沢C遺跡

公益財団法人 山形県埋蔵文化財センター
YAMAGATA PREFECTURAL CENTER FOR ARCHAEOLOGICAL RESEARCH
〒999-3246 山形県上山市中山字壁屋敷 5608 番地 TEL 023-672-5301 (代) FAX 023-672-5586
ホームページ: <http://www.yamagatamaibun.or.jp>
メールアドレス: yac@yamagatamaibun.or.jp

令和2年度 山形県内の発掘調査

今年度は、国土交通省酒田河川国道事務所、山形県農林水産部からの委託を受け、2遺跡2件の発掘調査を実施しました。また、発掘調査が終了した5遺跡4件の整理作業を行い、3遺跡の報告書を刊行しました。

発掘調査事業

No	遺跡名	市町村	時代区分	種別	調査期間
1	みずばやしした 水林下遺跡	遊佐町	旧石器・縄文 奈良・平安	集落跡	6月30日～11月27日
2	すぎざわしー 杉沢C遺跡	遊佐町	縄文・近世	集落跡	8月18日～11月20日



水林下遺跡



杉沢C遺跡



整理作業

No	遺跡名	市町村	時代区分	種別	業務内容
1	かみぞね 上曾根遺跡 第3次	酒田市	奈良・平安	集落跡	報告書作成
2	やわたにし 八幡西遺跡 第1・2次	川西町	奈良・平安 中世・近世	集落跡	報告書作成・刊行
3	かわまえ 川前2遺跡 第5次	山形市	古墳 奈良・平安	集落跡	報告書作成
4	のだ 野田遺跡	遊佐町	縄文 奈良・平安	集落跡	報告書作成・刊行
5	しもなかせ 下中瀬遺跡	遊佐町	奈良・平安 近世	集落跡	報告書作成・刊行

水林下遺跡は、県の北西端で秋田県との県境に位置する遊佐町女鹿地区の鳥海国定公園区域内に所在します。東に鳥海山を望み、西には日本海が広がります。

調査は農道の関係から3地区（A・B・C）に分けて行いましたが、当初予定に無かった旧石器時代の遺物がB区から出土したことから、C区は遺構の確認までにとどめ、本調査は次年度に行うことになりました。

調査で、A区からは溝や土坑、多くの柱穴が見つかりました。その中には、直径約30cmの柱根が出土した約80cm四方の掘り方を測る柱穴もありました。

B区では2層の遺構・遺物面があり、上の層からは、多数の柱穴が見つかり、2間×2

間の建物跡が2棟の他、柱列なども確認されました。A区とB区上層からは、平安時代の須恵器の蓋や土師器の坏、製塩土器と思われる厚手の土器の他、中世の陶磁器などが出土していることから、古代から中世にかけての集落と考えられます。

B区の下層からは剥片や碎片、石核の他に台形石器や錐などが出土しました。時期は台形石器などの製品から、約3万年後の後期旧石器時代の前半期頃の可能性があります。分布状況から来年度の調査区に広がるのが分かっているので、次年度の調査で詳細が明らかになると思います。

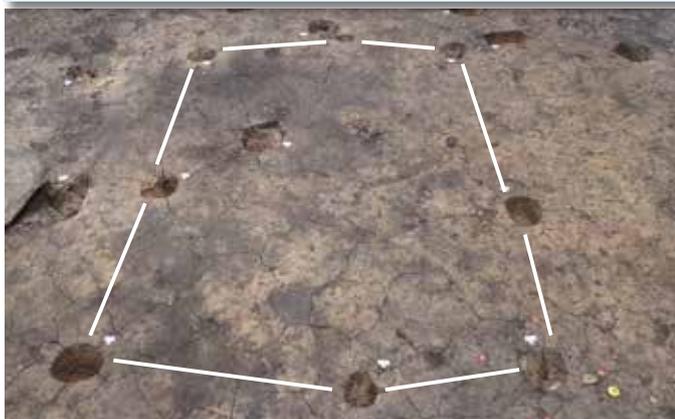
県内の旧石器時代の遺跡で、海沿いに立地する遺跡は極めて稀であり、本県の旧石器時代を研究するうえで、重要な遺跡であると考えられます。（氏家信行）



海の近くの小高い山の中に遺跡があります。上が日本海です。



80cm四方で深さ1.0mの柱穴。径30cmの柱根が残っていました。



2×2間の掘立柱建物跡。柱穴は径20cm程。



旧石器時代のものと思われる石器（剥片・小破片）。

杉沢C遺跡は、山形県の北西端にあたる遊佐町杉沢地区に位置する縄文時代と近世の集落遺跡です。鳥海山麓の小盆地を流れる月光川支流の熊野川の左岸に立地しており、1953（昭和28）年に石囲いの中から横になった完全な形の土偶が偶然に発見されて有名になった杉沢A遺跡からは、600mほど東に離れています。また熊野川の対岸には、1978（昭和53）年に国の重要無形民俗文化財に指定された^{ばんがく やまぶし}番楽（山伏によって舞われる^{すぎさわひやま}神楽）「杉沢比山」の舞台となる熊野神社があります。

調査区は熊野川南岸に沿っており、全体がかつての河道跡になっています。河道が埋没する過程において、縄文時代以降の生活の痕跡が認められており、縄文時代では中期中葉（大木8a式）、後期後葉（金剛寺1式）、晩期後半（大洞C2～A式）の土器がまとまって出土しました。中期の土器は調査区南側の黒色土、後期の土器はその北側の褐色土、晩期の土器は熊野川に近い褐色土の中から出土しており、年代が下るに従い川に近づく傾向が認められました。特に晩期は杉沢A遺跡の土偶の時期（大洞C2式）に近く、同遺跡との関わりがあった可能性が考えられます。

近世では、建物の柱穴と思われるピットが多数検出されました。調査区域に鳥海山で修行する山伏の宿坊があったことを示す絵図が残されており、それを裏付ける成果を得ることができました。また近世の井戸跡が検出されました。旧河道の巨大な礫を多く含む土層を掘り込んで構築された木組みの井戸で、中からは箸や曲げ物といった木製品が多数出土しました。宿坊で利用された井戸であったと考えられます。

杉沢C遺跡では、鳥海山麓の自然豊かな地域に展開した縄文時代と近世の人の営みを明らかにすることができました。

（小林圭一）



多くの遺構が検出されましたが、特に中央付近で近世の柱穴群が集中して検出されました(上が北)。



近世の井戸跡の断面の3D写真です。



縄文時代晩期後半の土器が潰れて出土しました。

令和2年度 文化財普及啓発事業

山形県埋蔵文化財センターでは、これまで文化財普及啓発事業の一環として、「発掘調査説明会」、「職場体験」、「考古学講座」、「なつやすみ子どもミュージアム」等を実施してきましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、これらの事業を中止しました。来年度は感染拡大を予防する「新しい生活様式」のもと、少しでも多くの事業を再開していきたいと思っております。

調査成果一般公開

	市町村	遺跡名	遺跡種別	公開期間
1	遊佐町	水林下遺跡	集落跡	11月9日～13日
2	遊佐町	杉沢C遺跡	集落跡	11月9日～13日



水林下遺跡一般公開のようす

センター見学・施設利用

	来所者	期日
1	村山市教育委員会（赤外線による鑑定）	7月2日
2	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館（写真撮影）	7月10日・14日・30日31日 8月5日・6日
3	米沢市上杉博物館（写真撮影）	7月13日
4	寒河江市教育委員会（出土遺物鑑定）	9月16日
5	東北芸術工科大学 学生（施設見学）	10月28日
6	米沢市教育委員会（赤外線による鑑定）	12月8日
7	南陽市教育委員会（写真撮影）	12月11日
8	長井市教育委員会（出土遺物鑑定）	2月2日
9	酒田市教育委員会（施設見学）	2月10日



2020年8月にセンターの花壇に咲いたひまわりです。職員が一生懸命育てました。今年もお待ちしています。

秘宝館

ほったん 八反遺跡出土 一括出土銭

平成 25 (2014) 年、東北中央自動車道建設にともなう発掘調査で、東根市の八反遺跡から、大量の古銭が曲物に収められた状態で見つかりました。

古銭を 100 枚ごとにまとめた^{さし}縶が良好な状態で残っていたため、古銭は曲物から取上げずに、出土したままの状態^{まじ}で保存処理を行いました。その上で X 線 CT を使って内部を調査し、ほぼすべての古銭の種類や枚数が判明しました。

1 段に 16 本の縶が渦巻状に収められ、それが 5 段重ねられています。80 本の縶のうち 70 本は 100 枚ちょうどの古銭がつづられていました。



保存処理後の一括出土銭



現在、埋蔵文化財センターのホールに展示しています。

古銭の枚数は 7,986 枚です。ほとんどが中国で作られたものですが、^{わどうかいちん まんねんつうほう}和同開珎や萬年通寶といった奈良時代の日本で作られたものも含まれていました。

最も新しい古銭の年代や、蓋として使われていた^{おしき}折敷の年輪から、14 世紀末頃に埋められたことがわかりました。

何のために埋められたのかは不明ですが、銭を保管しておくための^{びちくせん}備蓄銭説と、神様にお供えするための埋納銭説の 2 つの説が有力です。

編集後記

埋文やまがた 64 号をお届けします。今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、残念ながら普及啓発事業の多くを中止しなければなりませんでした。

発掘調査説明会も一般公開という形に変えて実施しました。来年度は、事業が再開できるように、一刻も早いコロナ禍の終息を願っています。